

背景

- 全国で病院小児科の数が減少しているが、小児救急患者の医療機関へのアクセスに関する地方間格差は十分に論じられていない。

方法

- 平成24年全国の救急搬送人員データベース(消防庁)から転院搬送を除いた
 - 新生児(28日未満, 2,841人),
 - 乳幼児(28日～7歳未満, 207,033人),
 - 少年(7歳～18歳未満, 男女とも,170,206人)に関するデータを抽出し, 救急搬送における
 - **現場到着所要時間**
(通報～現場への救急隊到着)
および
 - **収容所要時間**
(通報～医療機関への患者収容)
を地方間で比較した.

結 果(1)

- 通報から現場への到着時間は、地方間で大きな差は認められなかった。
- 95パーセンタイルの最長と最短の差は、新生児で5.7分、乳幼児で3.0分、少年で2.0分に過ぎなかった。

地方ごとの現場到着時間(分)

	パーセンタイル			
	50	75	90	95
新生児				
北海道	7.0	10.0	13.0	18.4
東北	8.0	11.5	15.4	18.7
関東	8.0	10.0	13.0	14.0
中部	7.0	9.0	12.0	14.0
近畿	8.0	9.0	11.0	13.0
中国	8.0	10.0	12.2	15.1
四国	7.0	9.7	13.0	16.0
九州沖縄	8.0	10.0	13.0	15.0
最長-最短	1.0	2.5	4.4	5.7

地方ごとの現場到着時間(分)

パーセンタイル

乳幼児	50	75	90	95
北海道	7.0	9.0	11.0	14.0
東北	8.0	10.0	13.0	16.0
関東	8.0	10.0	12.0	14.0
中部	7.0	9.0	11.0	13.0
近畿	7.0	9.0	11.0	13.0
中国	7.0	9.0	12.0	14.0
四国	7.0	9.0	12.0	14.0
九州沖縄	7.0	9.0	12.0	14.0
最長-最短	1.0	1.0	2.0	3.0

地方ごとの現場到着時間(分)

少年	パーセンタイル			
	50	75	90	95
北海道	7.0	9.0	12.0	15.0
東北	8.0	10.0	13.0	16.0
関東	8.0	10.0	12.0	14.0
中部	7.0	9.0	12.0	14.0
近畿	7.0	9.0	12.0	14.0
中国	7.0	9.0	12.0	15.0
四国	7.0	9.0	11.0	14.0
九州沖縄	7.0	9.0	12.0	14.0
最長-最短	1.0	1.0	2.0	2.0

結 果(2)

- しかし、通報から医療機関収容までの時間は、地方間で大きな差を認めた。
- 95パーセンタイルの最長と最短の差は、新生児で25.5分、乳幼児で10.0分、少年で16.0分に達した。

地方ごとの収容所要時間(分)

パーセンタイル

新生児	搬送(人)	50	75	90	95
北海道	143	33.0	45.0	62.0	72.8
東北	165	36.0	46.0	63.8	76.5
関東	818	37.0	47.0	59.0	69.0
中部	588	32.0	42.0	53.0	61.0
近畿	502	32.0	42.0	54.0	65.8
中国	157	33.0	45.0	54.0	67.4
四国	104	28.0	36.0	46.0	51.0
九州沖縄	364	32.0	39.0	51.0	62.0
総計	2,841	34.0	43.0	56.0	66.0
最長-最短		9.0	11.0	17.8	25.5

地方ごとの収容所要時間(分)

パーセンタイル

乳幼児

搬送(人)	50	75	90	95	
北海道	7,117	30.0	38.0	49.0	58.0
東北	10,761	32.0	42.0	53.0	62.0
関東	61,574	34.0	43.0	53.0	61.0
中部	37,868	29.0	35.0	44.0	52.0
近畿	50,284	29.0	37.0	46.0	53.0
中国	10,793	31.0	38.0	48.0	56.0
四国	5,736	28.0	35.0	45.0	53.2
九州沖縄	22,900	28.0	35.0	44.0	52.0
総計	207,033	31.0	39.0	49.0	57.0
最長-最短		6.0	8.0	9.0	10.0

地方ごとの収容所要時間(分)

パーセンタイル

少年	搬送(人)	50	75	90	95
北海道	6,044	31.0	40.0	53.0	62.0
東北	10,392	34.0	44.0	57.0	66.0
関東	47,638	36.0	46.0	59.0	70.0
中部	31,988	30.0	38.0	48.0	57.0
近畿	37,565	31.0	40.0	51.0	61.0
中国	10,214	32.0	41.0	52.0	61.0
四国	6,149	28.0	36.0	45.0	54.0
九州沖縄	20,216	29.0	36.0	46.0	54.0
総計	170,206	32.0	41.0	53.0	63.0
最長-最短		8.0	10.0	14.0	16.0

結 論

- 地方別に見ると現場到着所要時間に大きな差は認められなかったが、収容所要時間は特に東北や関東において長い傾向が見られた。
- 必ずしも、地方で収容所要時間がながいわけではなく、少年では関東地方における収容所要時間が長かった。したがって、現場から医療機関までの距離が長いことだけが収容所要時間を長くする原因であるとはいえない。